

ごあいさつ



理事長 志田 勇人

「優しい医療」

当院は北海道胆振地方において、地域に根ざした医療機関をめざし日々努力して参りました。社会の多様化に伴い医療における環境も大きく変化してきました。現代はスピード優先、効率重視の考えに重きを置く風潮ではありますが、まずは地に足をつけ焦らず、たゆまずを心して地域の皆様とともに歩んでまいりたいと思っております。

「医は仁術なり」と申します。まさしく医療は人対人であり医療の根幹にあるのは人を思いやる心、優しい気持ちではないかと考えております。どんなに医療技術が進歩し、とりまく環境が変わろうとも当院はその気持ちを忘れずにこれからも皆様の幸せと生きがいに役立つ病院として励んでまいり所存でございます。宜しく申し上げます。

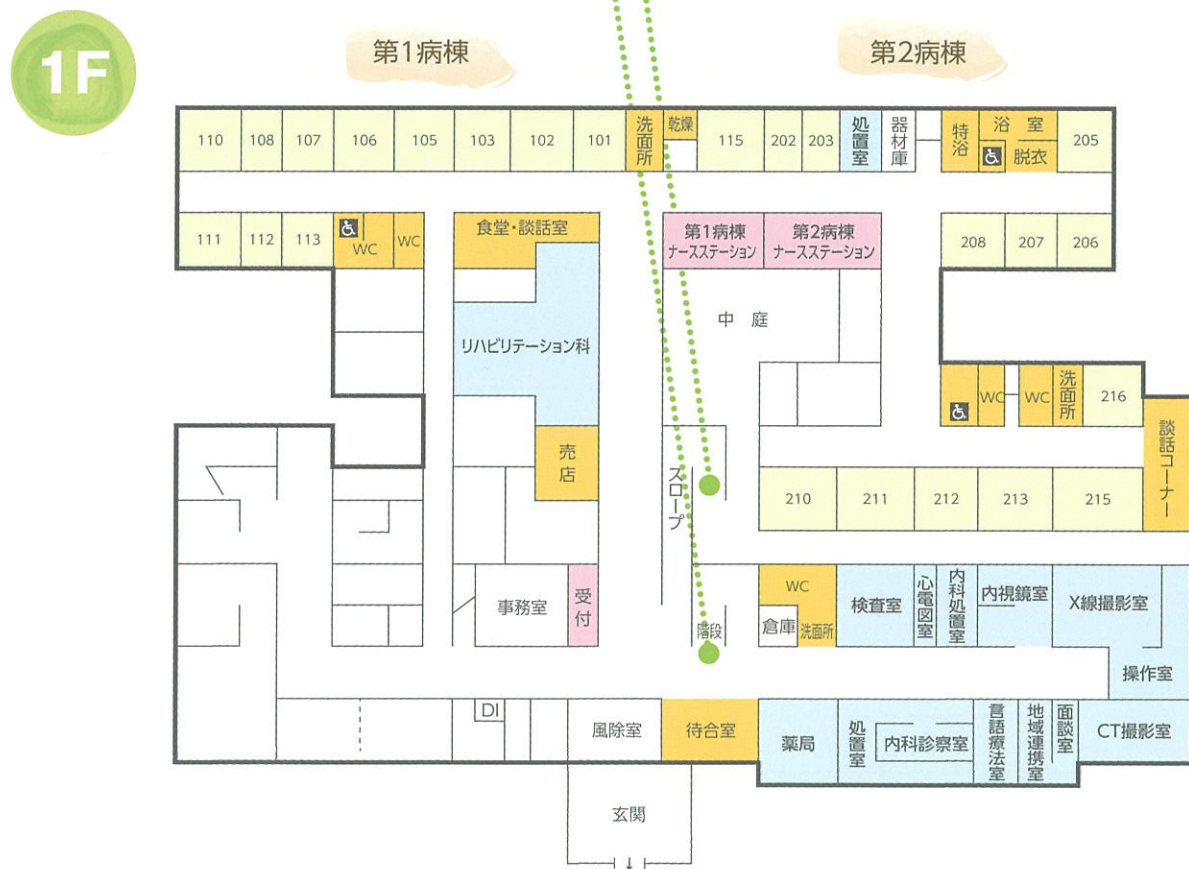


院長 柳川 利正

令和2年4月1日から築田浩明先生の後を受け院長として務めさせて頂くことになりました。当院は昭和53年に開設し、以来、築田先生の地域医療への熱い想いを着実に実現し、現在は高齢者が安心して療養やリハビリテーションができる体制を整えております。また、地域の皆様が健康を保つことができるように健康診断等も積極的に行っております。

これまで長きにわたり当院が地域の皆様に支えられてきたことへの感謝を忘れず、なお一層努力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

病院案内図



- 外来診察室
- 内視鏡室
- 地域連携室
- 受付・会計
- CT撮影室
- X線撮影室
- 臨床検査室
- 薬局
- リハビリテーション室
- 売店
- 事務室
- 1 病棟ナースステーション
- 2 病棟ナースステーション
- 病室
- 食堂・談話室
- 浴室

訪問リハビリテーション すずらん

訪問リハビリテーションの目的は、利用者様の実際の生活の場にお伺いして、日常生活の自立と家庭内、さらには社会参加の向上を図ることが目的です。

訪問リハビリテーションでは、その日の体調の確認や利用日以外の体調確認も行い、かかりつけ医やケアマネジャー等の関係職種と積極的に連携を図りながら、チームの一員として協力して生活を支えています。



「最近、家の中でつまづきやすくなった」「車いすへの乗り移りの介助が大変になった」「近頃、家族の元気がなくなってしまった」「趣味や生活を楽しみたい」「生活の工夫や道具の工夫をしたい」「言葉が出づらく話し難い」「食べ物が飲み込み難い」といった在宅生活でのご本人様やご家族様の悩みに対して、関節の固さや手足の力、口腔機能、生活の状況、住まいの環境、ご家族様の介護力などを確認し、在宅生活の中でご本人様の機能の向上を図りつつ、入院中には行うことができない実際の生活場面に即した能力的な部分へのアプローチを行っていくことができるサービスです。

訪問リハビリテーションすずらんでは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士といったリハビリ専門職が、サービス提供に伺います。

訪問リハビリテーションすずらんは『登別・室蘭をはじめとする西胆振地域に住みながら障害をもつ方々やご高齢者、またそのご家族のみなさまが、住み慣れた場所でそこに住む人々とともに安心した生活が送れること』を目指し、事業所の職員一同、支援していきます。



リハビリテーション科

寝返り・起き上がり・立ち上がりなどの基本的動作や日常生活動作能力を高め、安全に活動するための関わりを行っております。また、ベッド上で生活することの多い患者様には、できる限りベッド上から離れた生活が送れるよう、趣味活動や楽しみ活動などを提供し、患者様ご本人が主体性をもって生き生きとした生活が送れるように、お手伝いをさせていただきます。



地域連携室

地域連携室では、患者様、ご家族様からのご相談、地域の医療機関、様々な保健・福祉サービス機関との連携窓口業務を行っております。

入院相談 当院では、状態の安定された慢性期の患者様の受け入れを致しております。

〈入院相談の流れ〉

ご連絡

地域連携室までご連絡をいただき、貴院または貴施設の診療情報提供書、ADL情報をファックスにてお送り下さい。

院内での検討

当院において対応が可能であるかどうかを、医師、看護師を含めて検討させていただきます。

ご回答

当院における検討結果を、ご担当者様へご連絡致します。受け入れ可能な場合は、ご連絡後に当院にて事前面談を行います。

お受け入れ

事前面談の完了後、病床の調整がつき次第、入院の受け入れをさせていただきます。

※ 医療機関等に入院されていない方、施設等に入所されていない方は、直接地域連携室へお問い合わせ下さい。

医療相談

当院では、皆様が安心して療養生活を送ることができるよう、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）が様々な相談に応じています。

例えば…

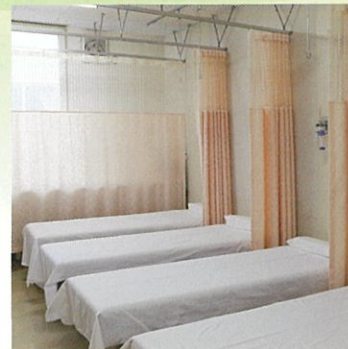
・入院生活について ・退院後の生活について ・医療費について



外 来

外来では、一般診療をはじめとして、特定健診や企業健診なども行っております。

地域に密着した外来診療を目標に日々取り組んでおりますので、何かご心配なことがございましたら、お気軽にご相談下さい。



健康診断・検診

当院では、特定健診をはじめ、一般の方の健康診断やがん検診、企業様向けの定期検診などを実施しております。

■企業健康診断について

企業には、従業員に対し定期的な健康診断を行うことが義務付けられております。登別すずらん病院では、一般健康診断とは別に「企業健康診断料金」を設定し企業の皆様がご利用しやすいものをご用意しております。料金設定や詳細につきましては、お気軽に当院までお問い合わせください。



内 視 鏡

内視鏡室では、上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）や、内視鏡を使った胃ろう造設（PEG）などを行っております。

従来のバリウム検査に代わる胃がん検診として、または胃の調子の悪い方や胸やけ、食欲低下などの症状などでお悩みの方は、医師または病院職員にご相談下さい。また、ピロリ菌に関する検査や除菌治療も行っておりますので、併せてお問い合わせ下さい。

なお、検査は予約制にて行っております。ご希望の方は、事前にお電話でのご確認をお願いいたします。



上部消化管内視鏡検査装置

病棟

130 床全床が医療療養病床で、急性期を過ぎた医療管理が必要なご高齢の患者様が入院されております。

患者様お一人おひとりの個別性を尊重しながら、まごころを込めて、快適で安全安楽な療養生活が過ごせますよう、看護・介護の実践をスタッフ一同心掛けております。



人工呼吸器

当院では脳血管障害、低酸素脳症、蘇生後脳症、神経難病、呼吸器疾患等により人工呼吸器の装着が必要になった患者様の受入を行っております。入院時は医師・看護師・臨床工学技士が同乗した、当院の救急車でのご搬送も可能です。

人工呼吸器を装着した患者様へのリハビリテーションとして、痰の排出を促したり、呼吸をしやすくするための呼吸練習や体位交換を行います。

患者様の状態に合わせて、ADL の訓練や生活のケアを医師、看護師、介護士、リハビリテーションスタッフが協働し、チームを組んでサポートしていきます。



食 事

入院中の患者様への疾病の治療を目的とした食事提供を行っております。衛生管理の徹底により、安全な食事が提供できるよう努めており、食事をおいしく召し上がっていただけるように、温度管理にも日々努力し、また個別対応も行っております。

その他、「誕生食」や「ごちそうの日」といった行事食を毎月4回ほど実施しており、旬の食材などを使用し、食の楽しみを大切にしています。



栄 養 科

医師の指示に基づいて、入院患者様および外来患者様を対象に、管理栄養士が食生活改善のアドバイスなどを行っております。患者様およびご家族様が継続して取り組むことができるように、患者様個々に合わせた指導を心掛けております。

臨床検査科

臨床検査科にある生理検査室では、主に心電図検査、超音波検査、聴力検査、肺機能検査等の検査を実施しております。

心電図検査では心臓の状態を調べ、超音波検査では主に腹部領域を中心に検査を行い、患者様のお腹の状態を調べることができます。

患者様の検査情報は、迅速かつ正確に担当医師へ報告する体制を整えており、臨床検査科として患者様のお役に立てるよう心掛けております。



放射線科

放射線科では、先端画像診断装置としてマルチスライス CT を導入しており、従来のシングルスライス CT よりも撮影速度が高速化したことで、患者様の被ばく線量の低減、息を止める時間も短くなり、より薄いスライス厚での高分解能撮影を実現しております。

より高度かつ高画質な診断に適した画像を提供することにより、より良い診療を目指しております。



薬剤科

薬剤科は、薬剤師と調剤助手のスタッフにより安全な薬物治療の支援のため、日々の業務を行っております。

調剤や製剤業務にとどまらず、薬剤管理指導、医療安全対策、院内感染対策などでは、医師・看護師等の多職種との連携を保ちつつ、医療チームの一員としての活動を展開しています。

